

シミュレーションにおけるV & Vについて									
概念図を図に示す。									
1. 検証									
1.1. 定義									
根底にある数学モデルとその解を計算モデルが正確に表現できていることを示すプロセスである。									
1.2. 実施方法（以下に具体的方法をいくつか挙げる）									
理論計算が可能なレベルに簡略化したモデルを解析し、理論解と解析解が許容可能な範囲で一致していることを確認する。									
静解析の場合、計算された反力が加えた荷重条件と釣り合っているか確認する。									
応力分布や変形挙動に不自然さが無いか確認する。									
2. 妥当性確認									
2.1. 定義									
モデルの意図した利用法を考慮したうえで、現実をどの程度正確に表現できているかを示すプロセスである。									
2.2. 実施方法（以下に具体的方法をいくつか挙げる）									
現実の現象の一部を取り出した環境を作り出し、それから得られた実験データと解析解を比較する。									
解析変数を変化させて結果に与える影響の傾向を把握すること、解析変数の妥当性を評価する。									